

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年6月6日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：アメリカ内外に広がる人種差別反対の動き、オープニング、横田滋さん死去 アメリカ民主党の予備選挙、雇用調整助成金でトラブル 【特集】抗議に揺れる2大国</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ内外に広がる人種差別反対の動き</li> <li>・オープニング</li> <li>・宝塚市でボーガンによる4人殺傷事件で容疑者を逮捕</li> <li>・岡山県の老人ホームで組織ぐるみの虐待</li> <li>・横田滋さん死去</li> <li>・賑わう週末の行楽地と悩み</li> <li>・東京26人感染の半数が夜の街</li> <li>・アメリカ民主党の予備選挙</li> <li>・雇用調整助成金でトラブル</li> <li>・NPO法人が教育格差防止に向けてPC及び周辺機器の無償貸与の取り組みを始める</li> <li>・関東北部など落雷や突風に注意を</li> <li>・【特集】抗議に揺れる2大国</li> <li>・【特集】死刑を免れた男たち～仮釈放の現実</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ内外に広がる人種差別反対の動き：結論→特に問題なし アメリカ内外に広がる人種差別反対の動きについて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。 "ナレ「この日、就業率や失業率の改善が発表されたアメリカ、この報告に何故かトランプ大統領は白人の警察官に拘束された後に死亡した、黒人男性ジョージ・フロイドさんを引き合いに出し。」 トランプ大統領「いまジョージがこちらを見下ろして、我々の国で素晴らしいことが起きていると言っていることを願う。今日は彼にとって素晴らしい日だ、皆にとって素晴らしい日だ。」 ナレ「死亡した男性に素晴らしい日だと述べたのです、これを痛烈に批判したのが11月の大統領選でトランプ氏と戦う民主党のバイデン前副大統領。」 バイデン前副大統領「ジョージ・フロイト氏の最後の言葉は『息ができない』だった。大統領が彼の口に別の言葉を押し込もうとするのは率直に言って卑劣だと思う。」" "ナレ「フロイドさん死亡事件に端を発した抗議デモは様々なところで波紋を広げています、アメリカプロバスケットボール界のスーパースター、マイケル・ジョーダンさんは5日、人種間の平等などを目的に活動する団体に今後10年間で日本円にしておよそ110億円を寄付すると発表、一方首都ワシントンのホワイトハウス近くの道路上に書かれたのは”BLACK LIVES MATER”、黒人の命は大切というデモのスローガンです。周辺エリアは市によってブラックライブズマタープラザと改名されることが発表されました。一方、隣国カナダで行われた抗</li> </ul>		

議デモに参加したのは黒いマスク姿のトルドー首相、多くのデモ参加者の中、地面に片膝を付き、じんしゅさべつへのこうぎをしめしました。各地で抗議デモが広がる中警察の抜本的な改革を求める声広がっています、ネット上で拡散されたこちらの映像、警官隊に近づいたデモ参加者の男性を警官 2 人が突き飛ばします、映像が公開されると警察の対応が過剰だったのではないかと批判の声が上がり、関わった警官二人は停職処分となりました。」

黒人男性「殴るのをやめて、普通に逮捕すればいいじゃない。」

ナレ「西部ワシントン州でも今年 3 月、黒人男性が他人の車に乗り込もうとしたとして複数の警官に路上で押さえつけられて死亡したと現地メディアが伝えました。週末ホワイトハウスまでは 100 万人規模の集会在呼びかけられていて、政府や警察の対応次第でさらなるデモ拡大に繋がる可能性もありそうです。」

このトピックについて当てられた時間は 181 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・オープニング：結論→特に問題なし

金平キャスターが「ええ、その黒人男性は白人警察官によって 8 分 40 秒に渡って首を膝で押さえつけられ、死亡しました。このあまりにも理不尽な出来事に対して市民の怒りが全米で大きく広がっています。人間としての尊厳を回復する運動、香港の動きと合わせて特集でお伝えします。」とコメントしていた。このシーンに当てられた時間は 21 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・横田滋さん死去：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「昨日亡くなった拉致被害者横田めぐみさんの父、滋さん、安らかに眠るように旅立ったということです。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"記者「お父さん、何が一番しんどそうというかつらそうというか。」

横田早紀江さん「手とか硬いから柔らかくしてあげたいと思い、マッサージしているが、ちょっと眉にいシワを寄せるから痛いと思うと。」

ナレ「一昨年 4 月から入院していた横田滋さん、平日は妻の早紀江さん、週末は息子の拓也さんと哲也さんが欠かさず見舞いを続けていました。病室にはめぐみさんの写真が飾られ新型コロナの影響で 3 月末から病院での面会が禁止になった以降も、タブレット端末で病室の滋さんに話しかけるとニコニコと笑顔を浮かべていたということです。お父さん大丈夫よと励まし続けた早紀江さん。滋さんは安らかに眠るように旅立ったということです。滋さんの葬儀は週明けに家族葬で行われるといいいます」

蓮池薫さん（拉致被害者、62 歳）「愛情のパワーというのですね、今まで突っ走ってこられた、なぜあわせてあげることができなかったのかなというのを本当に繰り返し繰り返し考えていますけれどね。」

ナレ「新潟県柏崎市の拉致被害者の蓮池薫さんは北朝鮮に対する憤りと、歴代の日本政府に対してもどかしさを感じると話しました。」

"ナレ「また、佐渡市の曾我ひとみさんは私の人生を救ってくれたのに、と肩を落としました。」

曾我ひとみ（拉致被害者）「私は何の恩返しもできませんでした。めぐみさんにあわせてあげたかった。悔しい。悲しい。心が痛い。」

このトピックについて当てられた時間は 119 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカ民主党の予備選挙：結論→特に問題なし

ナレーションによって「11 月のアメリカ大統領選挙の民主党の候補について CBS テレビなどは 5 日、バイデ

ン前副大統領が党大会での指名に必要な代議員の過半数を獲得し、党の候補指名を得ることが確定したと伝えました。バイデン氏は声明を出しアメリカは困難な時期にあるがドナルド・トランプの怒りと分断の政治は答えではない、この国は我々を団結させる事ができるリーダーシップを求めている、と強調。我々はドナルド・トランプを倒すためだけの運動ではなく、我々の国を変革する運動を行っていると訴えました。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・雇用調整助成金でトラブル：結論→特に問題なし

膳場キャスターによって「雇用調整助成金のオンライン申請が昨日の再開直後に再びトラブルが起き利用を中止した問題で個人情報が出た可能性があることが分かりました。従業員に休業手当を支払った事業者に支給する雇用調整助成金のオンライン申請は先月 20 日の受付開始後にシステムトラブルで利用が中止となり昨日の正午に利用が再開されましたが、その直後に再び利用が中止されました。厚生労働省によりますと申請した事業者が他の事業者の申請書類の内容を閲覧できる状態が少なくとも一件確認されたということです。厚生労働省は個人情報が出た可能性があるとして、原因などを調査していますがシステム再開の目処は立っていません。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 54 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】抗議に揺れる 2 大国：

膳場キャスターの「特集です。アメリカと中国、二大国が抗議に揺れています。」とのコメント、金平キャスターの「黒人男性が死亡した事件をきっかけに、全米に広がるデモと。中国政府に対する香港市民の抗議活動。その行き着く先には何があるのでしょうか？」とのコメントを受けて、以下に朱記した特集が取り上げられていた。

ナレ「全米 500 都市以上に広がった抗議デモ。きっかけとなった映像に、何が。一方、香港では今週天安門事件の追悼式が、禁じられていたが、」

デモ隊（字幕）「国家安全法反対」

ナレ「市民は集会を決行した。米中二大国が今、抗議に揺れている。」

（CM）

男性（字幕）「さあみなさん 頭を垂れて祈りをささげましょう。」

ナレ「白人警官の暴行にあって死亡した黒人男性ジョージフロイドさんの追悼集会が行われた。黙祷が捧げられた時間は、8分46秒。それはフロイドさんが、警察官に首を押さえつけられていた時間だ。」

ナレ「その8分46秒を記録した映像が全米に強い怒りの火をつけた。報道特集では、怒りの原点となった現場で何が起きていたのか、詳細を伝える。」

黒人男性（字幕）「Please please 息ができない。」

ナレ「映像は冒頭から、警察官に対し、息ができないと訴えるフロイドさんの姿から始まる。」

「警官（字幕）「なんだよ。」

フロイドさん（字幕）「息ができない」

ナレ「周りに人が集まってきたが、警察官は一向に膝を外そうとしない。」

フロイドさん（字幕）「もうだめだ。もうだめだ。お腹が、首が痛い 全部痛い。水をください。please。お願いだ息ができないんだ。殺す気なのか。」

ナレ「通行人から次々と抗議の声が上がった。」

通行人女性（字幕）「鼻から血が出てるわ。彼の鼻を見て」

通行人（字幕）「膝で首を絞めている。」

通行人（字幕）「彼は人間だぞ。車に入れたらいいじゃないか。あんたは彼の呼吸を止めているんだよ。」

フロイドさん（字幕）「息ができない」

通行人（字幕）「地面から離してあげなよ。あんたはそれを楽しんでいるんだ。」

ナレ「冒頭からおよそ5分後、意識を失ったフロイドさんは、病院に搬送されたが、その後死亡が確認された。警察官はなぜを抑え続けたのか？」

ナレ「事件が起こる直前の映像も残されている。近くの店の防犯カメラには、車に乗っていたフロイドさんが連行され、座り込む姿が。アメリカメディアによると、警察は、当初フロイドさんに、車から出るよう命じたところ、物理的に抵抗したと説明したという。しかし一連の映像からは、フロイドさんが激しく抵抗する様子は見られない。こうした経緯が徐々に明らかになり、全米で抗議の声が大きく広がっていった。」

ナレ「だが各地では、略奪や放火などの暴力行為も相次いだ。事件現場を訪れたフロイドさんの弟は、」

フロイドさんの弟（字幕）「お願いだから平和的にやってください。私ですら暴れて物を破壊したり、自分のコミュニティをめちゃくちゃにしたりしていないんです。なのにみんな一体何をしていますか？」

ナレ「一方、その日演説したトランプ大統領は、」

トランプ大統領（字幕）「群を配備し問題を速やかに解決する。」

ナレ「トランプ大統領はこの演説の後、教会を訪問したが、周辺でデモを行っていた群集に対し、催涙ガスやゴム弾が使われた。警察の攻撃は、その様子取材しテレビ中継を行っていたオーストラリアの報道陣にも、及んだ。」

オーストラリアのテレビ局のキャスター（字幕）「アメリカ大丈夫？カメラマンも？」

ナレ「女性記者は警棒で背中を殴られたという。」

アメリカ・グレイス記者（字幕）「私たちはメディアよと叫んでも彼らには関係ありません。今は誰であろうと関係ない。」

ナレ「カリフォルニア州オークランドに住む映画評論家の、町山智浩さん。先週デモの様子を自ら撮影した。」  
デモの映像

ナレ「催涙弾が撃ち込まれる中、抗議活動を続ける女性がいた。」

町山さん（字幕）「大丈夫？」

ナレ「この後、町山さんにも殴りかかってきた。」

警官（字幕）「出て行け！」町山さん「OK OK。」

町山氏「あのジャーナリストに対する攻撃が、かなりアメリカ各地で起こってるんですよ。トランプ大統領はずっとメディアを攻撃してきて、あいつらはエネミーだって言う風に言ったんですよ。だからアメリカ各地ですね、カメラを持っている人たちが、警察官からですね、殴られたり、ひどい時はその、ゴム弾で撃たれて失明したりという状況になってますね。」

ナレ「町山さんはデモの参加者と、暴動や略奪を起こしている人は別の集団だと見ている。」

金平「別の要するに動きがあったということなんですか？」

町山さん「はい全く違ってらんですよ。見た目が違うのと、行く先が違うんですよ。そのプロテスターと呼ばれている抗議をする人たちは、プラカードを持って、きてですね、警察署に向かうんですよ。略奪をする人たちは最初から、車とか、しっかり用意しておいて、商店街に向かっているんで、もう最初から行く先が違うんですよ。」

ナレ「デモの鎮圧をめぐるっては、トランプ政権内でも、亀裂が生じている。エスパー 国防長官は、軍の動員に反対する姿勢を示した。」

エスパー国防長官（吹替）「現役部隊の投入は、最終手段としてのみです。最も緊急で差し迫った状況に限られるべきです。」

ナレ「アメリカの、月刊誌、アトランティックの編集主幹を務める、デイヴィッドフラン氏は、こう語る。」

デイヴィッドフラン氏（吹替）「アメリカ軍が国内での治安維持活動に関わることは、歴史的にきわめてまれです。警察の仕事をするように、訓練されていないし、装備もありません。トランプ大統領は、その軍を今回、警察部隊として利用しようとしています。それに対して軍が、『適切ではない』とはっきり警告を出しているのです。」

ナレ「一方、デモ隊の前で、警察が州兵が哀悼の意を示すポーズを撮る姿が、SNS で拡散されている。フラン氏はこう話す。」

フラン氏（吹替）「デモの参加者は、日に日に増えています。そして体は日に日に秩序を保ち、暴力はなくなっています。群衆の規模は今週末、最大になるとみられます。ドナルドトランプは、後世、邪悪で成功しなかった大統領と、呼ばれるかもしれません。しかし彼は、アメリカの良心を再び目覚めさせ、より良い時代を作るため、我々を鼓舞してくれたのかもしれません。」

ナレ「おととい、香港の中心部にある公園に、ロウソクを持った多くの市民が集まっていた。」

群衆（字幕）「追悼の日を掲げ、虐殺と暴行を戒めましょう」

ナレ「毎年、6月4日に開かれている集会。これは、」

ナレ「1989年、中国の民主化を求め、人民解放軍に武力で弾圧された天安門事件の犠牲者を、追悼するものだ。中国本土ではタブーとされているが、香港だけは返還後も、毎年大規模な集会を開き、一国二制度による自由の象徴となってきた。」

男性（字幕）「最後まで抵抗する。命のために。国家安全法に反対。」

ナレ「香港市民のあいだには、かつてないほど危機感が高まっている。」

（CM）

ナレ「香港市民の間で、かつてないほど危機感が高まっている。中国の全人代で、香港での反政府デモなどを取り締まる国家安全法を制定することが、決まったためだ。市民らは、一国二制度の崩壊だと激しく反発している。」

ナレ「そんな中、香港警察は、新型コロナを理由に、初めて天安門事件の追悼集会を禁止し、会場となる公園を、閉鎖した。」

ナレ「だが、夜が近づくと、市民はバリケードを外し、次々と入っていった。」

男性（吹替）「私は、言いなりにはなりません。やるべきことをやります。身をもって、次の世代の人たちの良い手本になりたい。」

女性（吹替）「もちろん怖いけど、戦わなくては、中国共産党の思うがままになってしまいます。」

ナレ「公園には1万人以上が集まった。さらに街のあちこちでも、市民が続々と、ろうそくを手に、集会を開いた。警察は、繁華街で一部の市民らが道路を占拠したため、数人を逮捕したとしている。追悼集会の主催者、李卓人氏に、昨日話を聞いた。李氏は天安門事件の時、民主化の学生を支援するため、香港から天安門広場に駆けつけ、一時拘束された。それから31年、追悼集会を続けてきた李氏を日下部キャスターは取材してきた。」

日下部「今年31年ですけれども、なんとか今年は、そういう意思を、繋げることができましたね。」

天安門事件追悼集会の主催者 李氏（吹替）「今年は特に重要でした。国家安全法が香港に持ち込まれる寸前だからです。心境としては、1989年の天安門に、戦車が迫っていた時と同じです。国家安全法がすぐそこに迫っているからです。」

日下部「香港の場合、抗議活動する者に対する理解を示す、警察官。この人たちがあまり表に出てこないってのは何故なのでしょう？」



李氏（吹替）「香港では、もし公務員や警察官が、街でデモを支持した場合、確実に何か処分を受けます。もしくは解雇されることでしょう。」

ナレ「李氏は国家安全法が施行されても、逮捕覚悟で、提案門事件の追悼集会を行っていくつもりだ。」

李氏（吹替）「何があってもやります。香港人が戦い続けないと、香港の未来が暗くなってしまいますから。たとえ何か代償を払うことになるとしても、次の世代のために抵抗し続ければ、希望はあります。」

ナレ「追悼集会が行われていたおととい、繁華街である歌が歌われていた。」

集会（字幕）「どうか民主主義と自由が永遠であれ。香港に栄光あれ。」

ナレ「香港に栄光あれ。この歌は去年の夏、ネット上で反響を呼び、民主化を求める人たちの間で、香港の国歌と呼ばれるようになった。制作したのは全員 20 代のグループ。匿名で活動を続けている。彼らは今何を思うのか。」

日下部「未だに、香港に栄光あれというのは、市民の間で歌われてますね。」

作曲担当 T さん（吹替）「それはとても光栄なことです。一方で不幸なことですが、私たちの状況は改善されていません。政府からの圧力・弾圧を受けていて、拭えない恐怖を感じています」

日下部「北京がですね、突然、国家安全法を制定すると言い出しました。」

作曲担当 T さん（25）「最初に思ったのは、香港から逃げる必要があるんじゃないかということです。中国共産党は、武漢肺炎を利用して、国際社会が関与する余裕がないうちに、香港での反対の声を弾圧する手段を作り出すと思います。」

ナレ「今、彼らは新しい歌を作っている。『這地（ゼーデイ）』この場所という歌だ。」

歌（字幕）「約束を果たしたあの瞬間、あの大切な場所で、花びらを散らすことになろう。あの良き時代は必ず戻ってくる。力尽きるまで叫ぼう。なぜなら君がいるから。」

作曲担当 T さん（25）（吹替）「この歌は、これまでの抗議運動で、犠牲になった人たちに贈るものです。」

日下部「これからも、抗議の歌を作り続けますか？」

作曲担当 T さん（25）（吹替）「もちろん続けます。私たち芸術に携わる者として、市民を団結させる責任があります。対象は世界中の人々です。実を通じてみんなを共鳴させたいのです。」

英語版作詞担当マークさん（28）（吹替）「国家安全法や北京の圧力を受けて、香港人は更に行動します。香港人の勇姿を世界中の人々に、見せることができます。」

（CM）

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

膳場「金平さん。あのアメリカでの抗議デモの広がり、正直に言うと私の思っていた以上だったんですけども、これは社会の、大きな転換点にもなっていく動きなのではないでしょうか？」

金平「そうですね、1968年に、キング牧師が暗殺された時代と同じようなですね、大きな転換点がアメリカに訪れるという気がしますね。あの David Frank 氏の発言をちょっとお聞きになっていますとね、抗議運動がこれほど大きく広がったのは、SNS の力。それから失業者の増大、コロナ ウイルスで露わになった格差、黒人の死亡率が非常に大きいんですけど、そういう不満がないなまでになって一気に爆発したと。あの 8 分 46 秒の、あのスマホ映像、あれモザイクはあえて外してご覧いただいたんですけども、どうでした？」

膳場「いやショッキングでした。」

金平「でしょうね。」

金平「これ報道の理不尽な出来事に対して、市民が行動したっていうのは、ある意味でアメリカ社会の、健全さを示す兆しだと言えるのかもしれませんが。これに対してトランプ大統領の、対応するのは、時代の流れに逆行す

るものだと。ですから 11 月の大統領選挙にもですね、致命的に大きな影響を及ぼす可能性がありますね。」  
膳場「一方の、香港。あの日下部さん。香港では去年も逃亡犯条例に反対する抗議活動が大きな広がりを見せましたけれども、今回の国家安全法との差っていうのは、端的に言うとなんでしょうか？」

日下部「そうですね、香港における国家安全法っていうのは、そもそもね、香港で香港のルールによって立法化することが決まっていたわけです。」

膳場「逃亡犯条例の方ですね。」

日下部「あの一国家安全法ですね。国家安全法っていうのは、香港で香港のルールによって、立法化すると。ということが決まっていたんですけども、市民の反対でなかなか進まないわけですね。それで業を煮やした北京がお前がやれないなら俺がやってやると、直接介入に乗り出したということで、まあ逃亡犯条例の場合は、少なくとも香港で審議してたんですけども、今回はそうじゃないと。次元が全く違うと。ということですね、香港の人たちが一国二制度はこれで終わったんだと。こう感じて、怒りがこう出ているわけですけども、それでもこれだけ追悼集会に集まったというのは、本当にまた香港の人は新たな歴史を刻んだんだなあと感じましたね。」

この特集に当てられた時間は 1263 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし